【茶】の【台風】対策について

＜５～１０月＞

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

（１）予想される被害状況

・　茶園の冠水、潮風害の発生。
・　幼木の倒伏、落葉。
・　製茶工場等の損壊。

（２）事前対策

・　幼木園では防風ネットを設置し、株元やマルチ資材への土寄せにより、茶株の揺れやマルチのばたつきを防止するとともに、排水対策を行う。
・　２～３年生の茶園では、徒長枝を整せん枝する。
・　製茶工場（煙突、屋根、雨とい、窓等）の点検・整備・補強を行う。
・　台風の通過前に、スプリンクラー等で散水（５㎜以上）を始め、通過後十分に風が収まるまで散布を続ける。

（３）事後対策

・　風雨による倒伏や地際部に損傷を受けた幼木園では、株元やマルチ資材への土寄せ、補修を行う。
・　台風の通過前から散布を始めることが基本だが、何らかの理由で事前に散水を行えなかった場合で、降雨が少なく、海からの風で塩分が付着したとみられる茶園では、できるだけ早くスプリンクラー等で散水（５㎜以上）し塩分を除去する
・　強風により葉の損傷を受けた茶園では殺菌剤を散布する。
・　冠水・浸食部分の速やかな排水処理と改修を行う。
・　防霜ファン、茶工場などの施設被害の点検・補修を行う。